

平成31年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経 営 方 針	経 営 資 源			
総合政策部長 松尾 秀明	●使命 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。 また、市民意識を把握し、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。 ●基本方針 ①透明で開かれた市役所をめざして、市政の情報と市民目線の広聴広報に取り組みます。 ②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。 ③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。	所 管 課	秘書広報課、企画振興課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			1 7 人	2 人	1 9 人
		一般会計	7 3 2 , 2 9 8 千円		
		特別会計	2 9 , 4 0 7 千円		
		計	7 6 1 , 7 0 5 千円		
	(うち人件費)	(1 0 6 , 7 6 0 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	山鳥毛里帰りプロジェクトの推進	・ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを推進し、寄附の募集を行います。 ・ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを推進し、寄附を集めます。 《目標額》（経費差引後） 目標額達成まで 3億7,041万5,551円	クラウドファンディング実施中。 《目標額》 目標額達成まで 3億2,888万2,565円	クラウドファンディング実施中。 《目標額》 6億円→5億1,309万円に変更。1月26日をもって目標額達成。 1月末(経費差引後) +6,873万8,924円	H30 寄附金総額 3億2,784万4,468円 R1 寄附金総額 5億5,394万7,928円 【2ヵ年合計】 8億8,179万2,396円 集まり、目標金額を達成。 3月末(経費差引後) +1億1,903万7,396円 (未振込分や経費支払分により変動)

重点項目		内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
			・歳入確保と市のイメージアップのため、お礼の品の開発・拡充をします。	・新たな返礼品として電子商品券を加える準備をしている。	・11月から電子商品券を追加。その他、玄米30kg、牡蠣や果物（もも・ブドウ）の事業者・品数・早期受付など追加。	新たな返礼品として、電子商品券、果物の早期受付を開始した。今後、返礼品の開発・拡充を推進していきます。
2	「広報せとうち」による重点施策の情報発信と市外への魅力の発信	・市政に関心がある市民を増やすため、市の重点施策をテーマにした広報紙特集号を発行します。 ・マスコットキャラクター（セットちゃん）を広く発信することにより「瀬戸内市」の知名度の向上を図ります。 - SNSをシティプロモーションツールとして活用し、セットちゃん情報をはじめ市の魅力を積極的に発信します。	・市の重点施策等をテーマにした広報紙特集号の発行（年2回） ・企画・取材・編集等の作業を担う広報編集員の採用について研究し、メリット・デメリットを見極めます。 ・幼稚園・保育園や各種イベントへの参加（年30回以上） ・投稿数の増加（現在月1回⇒週3回以上）	・広報紙7月号に「山鳥毛」里帰りプロジェクトの特集。 ・他の自治体等の情報を参考に、補正予算を議会に上程する。 ・4月～9月まで11回参加 ・4月～9月まで月平均で週1回以上	・広報紙1月号に幼児教育・保育の無償化の特集。 ・広聴広報支援（広報作成補助）業務について、公募型プロポーザルを実施。 ・4月～1月まで18回参加 ・4月～1月まで6月中旬より山鳥毛里帰りプロジェクトのSNSを週5回投稿。	・広報紙7月と1月に特集を実施。 ・広聴広報支援（広報作成補助）を委託。レイアウトを作成。 ・4月～3月まで19回参加 ・山鳥毛里帰りプロジェクトのSNSを週5回投稿。フォロワー数727⇒2,885(4倍)

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	国内・国際交流事業の推進	・国際交流員の配置による国際交流と国際理解の推進に努めます。	・体験学習を通じて、多文化共生のまちづくりを進めます。（防災についての研修会を開催） ・日常生活に必要な情報をまとめた外国人向けパンフレット等の多言語化を3月までに進めます。	・8/24～8/25にカリヨンハウスにて防災研修を実施した。 ・パンフレット等を準備している。	・2/23に市内在勤の外国人向け市内を巡るバスツアーを実施予定。 ・1月上旬に国際交流員が退任したため、多言語のパンフレット作成は延期。	・防災研修とバスツアーを実施し、異文化への理解が深まった。 ・新型コロナウイルスについて、やさしい日本語・多言語版をホームページに掲載。
	地方創生の推進	・人口減少に歯止めをかけるため、移住、定住人口の増加につなげる取組を進めます。 ・総合戦略最終年度に当たり、有識者会議でのKPI検証に向け、達成状況の可視化を図ります。 ・現戦略の検証結果を踏まえ、次期総合戦略を策定します。	・市移住交流促進協議会（とくらす）と連携し、移住フェア等を通じた移住者支援に取り組む。（フェア来場からの移住：5組） ・有識者会議を7月中に開催し、KPI達成状況を示すとともに、市HPで公開する。 ・2019年度内に新戦略を策定する。	・フェア参加、東京2回、名古屋1回、大阪2回（フェア来場からの移住：1組2人） ・有識者会議を7月10日に開催し、概要をHPに掲載した。 ・次期総合戦略策定の基礎資料としてアンケート実施。8月送付、9月回収。現在集計中。	・フェア参加、東京5回、名古屋1回、大阪4回、岡山1回（フェア来場からの移住：1組2人）、個別案内ツアーは16組受け入れた。 ・有識者会議で確認されたKPIに対する意見等を次期戦略の参考とした。 ・次期戦略策定に向け、若手職員ワークショップ、市民ワークショップを開催した。	フェア参加、東京6回、名古屋1回、大阪5回、岡山1回（フェア来場からの移住：2組4人）、個別案内ツアーは27組（延べ33組）受け入れた。 ・3月中旬までに「第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略」の策定を終え、市HPで公表した。

重点項目		内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	公共交通の充実による市民の利便性向上	・市公共交通網形成計画に基づき、新規市営バス路線の導入による交通不便地域の解消を進めます。 ・既存市営バス路線の利便性向上を進めます。	・新規 3 路線の 1 1 月導入により、公共交通不便地域の人口割合を H30、7,821 人、20.7%から 2,825 人、7.5%まで改善する。 ・新路線導入に伴い、各種交通網の乗り継ぎに配慮したダイヤ改正や利用の手引きの刷新を行う。	・新規 3 路線は車両の調達に時間を要し、令和 2 年 1 月からの運行予定となった。 ・既存の西脇線は路線変更による利便性向上を図った。	・大富南北、長船北の 3 路線を 1 月 20 日から運行開始した。邑久高美術部の協力で同路線の車両ラッピングを行った。 ・新規 3 路線を含む全路線のダイヤを掲載した市営バスマップを配布した。	・新規 3 路線の導入等により公共交通不便地域の人口割合を 2,648 人、7.0%まで改善した。 ・市内の全ての公共交通網を記載した新年度版公共交通マップを官民協働で発行した。
	持続可能な地域づくりの推進	・新たに立ち上げる「まちづくり協議会制度」のモデル事業を通じて持続的な地域の形成を進めます。 ・地域自治組織や市民活動団体等への各種補助金交付事務の効率化を図ります。	・地域への説明会の開催等を通じて理解を深め、年度内にモデル地区 3 地区の導入を目指す。 ・市民活動応援補助金、協働推進事業補助金の手引き、様式の改善等を行い、団体及び市の事務負担軽減を図る。	・邑久地区、鹿忍地区で制度導入に向けた取組を行っているが、モデル地区への移行は困難な状況。 ・領収書等の提出の際、分類、貼付に利用できる様子を配布した。庁内各部署のテーマ設定の効率化を図った。	・鹿忍地区の新たな自治組織構築に向けた地元会議に出席し、規約、役員構成等に関する協議を行った。 ・協働提案事業補助金の制度改正を行い、要望の多かった 2 か年度の事業提案を可とした。	・モデル地区の導入は不可能だったが、鹿忍、邑久地区の組織作りに関与し、少しずつ前進している。 ・2 月～3 月で補助金事業の審査を行い、次年度採択事業を決定した。

重点項目		内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
7	各種統計の効率的かつ確実な実施と集計結果の利活用を進めます。	・統計調査員確保事務の効率化(外注等)により、調査に伴う市民の負担軽減につなげます。 ・庁内各部署で実施する統計、アンケート等の結果を市民が利用することができるよう、結果の集約、オープンデータ化を行います。	・農林業センサス調査員選任時の業務委託の導入(1 1 月までに) ・統計、アンケート等の調査手順、集計方法等の統一化を行う。(年度内)	・検討の結果、委託によらず、これまでどおりの方法で選任した。 ・データの統一化は、実施に向け制度を検討中。	・調査員 7 4 人に説明会を行い、滞りなく調査準備ができた。 ・オープンデータ化は未着手であった。引き続き検討を行う。	・R2 年度の国勢調査に向け、調査員の確保につながった。 ・オープンデータは引き続き検討することとする。